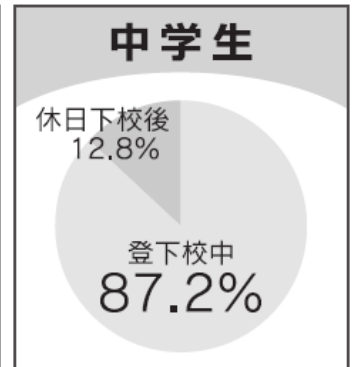
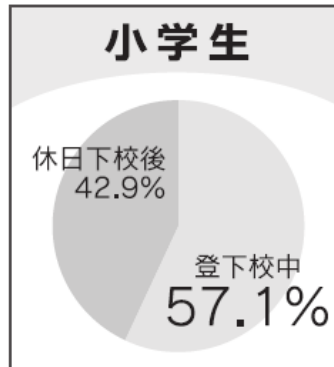
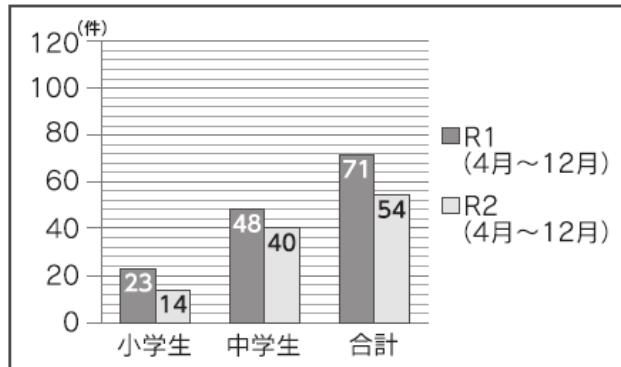


もう一度、お子さんと 交通マナーの確認を！



さらに、交通事故を減らすために

市内小中学生の交通事故の現状



事 故 事 例

case 1

反対側の歩道を下校している友人を見かけ、左右の確認をせずに道路を横断する。停車中の自動車が動き出し衝突する。



case 2

一時停止のラインのある十字路を停止せずに通行したところ、自転車の後輪と自動車の前面部付近が衝突する。



case 3

交差点で右折するため自転車で右側通行をし、一時停止はしたが、よく右側が見えず自動車を目視できないまま進行する。右側から進行してきた自動車に自転車が衝突する。



事故原因は小学生・中学生ともに「飛び出し」、「一時停止不履行」、「前方不注意」等による事故が全体の7割をしめる。

子供の特徴

- 見えない危険に対する予測と注意力が不十分である。
- 交差点での認知行動や停止行動が不完全である。

親子で安全確認をしましょう！

- 止まる** どこで止まるの？ どのように減速するの？
- 見る** 何をみるの？ どのように見るの？ いつ見るの？
- 確かめる** 何を確かめるの？

